

## 工学院レーシングチーム

Kogakuin Racing Team

<http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~wwa1032/>

## 飛躍まであと一步のKRT15



### 今回の総合結果・部門賞

●総合26位 ●CAE特別賞3位

### Profile チーム紹介・今までの活動

発足から10周年を迎えたKogakuin Racing Team: KRTは今年度、主要メンバーの脱落など決して平坦ではない道を歩んできました。それでも何とかここまでやってこられたのは、少しでも速いマシンを作ろうと一生懸命を動かせるメンバーの気概があつてのものだと実感しています。

### Team-member チームメンバー

#### 中島 亮平 (CP)

野崎 博路(FA)、雑賀 高(FA)、山本 崇史(FA)、見崎 大悟(FA)

半坂 剛志、竹内 啓、新沼 大悟、沖田 誠司、楠本 裕之、高木 智規、遠山 良太、土器 雄一、南雲 活広、野崎 功旺、森 健太、安藤 史剛、上原 千於里、内山 洋人、大倉 明拓、大野 秋音、奥山 智貴、押野 優汰、金野 竜也、小池 理紗子、小堀 哲夫、坂本 悠馬、辻 智駿、西濱 悠、橋本 大地、早川 雄大、眞柄 郁哉、三宅 結美、宮崎 大宗、八島 裕士、山田 祐晃、山本 優、行本 千速、吉村 慎太郎、荒川拓富、飯星 楓、上原 誠人、小柳 津大希、小池 琢斗、佐藤 睦、佐野 僚亮、柴原 嵩、島村 凌平、須藤 航平、高野 拓郎、戸瀧 侑太、二見 逸斗、坊野 菜々海、村上 和也、山崎 葉瑠、吉井 一弘

### Sponsors スポンサーリスト

IDAJ、五十嵐ブライヤー、HKS、JSP、江沼チエン、兼吉製作所、光明理化学工業、古寺製作所、須佐製作所、スリーピース技研、田中工業、ジョブテシオ、東京アールアンドデー、東洋電装、トップ工業、日信工業、日平機器、HILLTOP、不二WPC、VSN、深井製作所、SPSアンブラコ、スリーボンド、富士重工業、本田技研工業、松井精密工業、マルト長谷川工作所ほか多数

## Presentation

### プレゼンテーション

15年度のマシンコンセプトを「コーナリング性能の追求～解析と実測の強化～」、車両開発最終目標にラップタイム-7.5秒を掲げ開発を行ないました。昨年度車両において周回コースのどの部分で上位チームとの差が大きいかを徹底的に分析し、自作車両シミュレーションソフトによりベンチマークにしているチームに勝るマシンを完成させるための条件を打ち出し、各種区間タイム目標も定めました。全セクションにおいてセンサー類、計測機器を強化し、自作したデータロガーにより各種データを有効に集積、活用することができました。今年度取得したデータをマシンに生かされていない項目も多数あり、来年以降にも期待が持てます。これらのことがCAE特別賞3位獲得に繋がったと考えております。

チームは学部3年生中心の比較的若いチームですが、持ち前のエネルギーと徹底した日程管理により学内の工場が製作期間に1ヶ月使用できない状況においても、15年度では昨年度より3ヶ月早い、4月3日にシェイクダウンを完了させ、試走機会も大幅に増やし本大会までのマシンの煮詰め十分な時間を取ることができました。一方、試走ごとに何かしらのパーツが破損、トラブルが生じ十分に実走ができずに終了した試走会が多かったのも反省のひとつです。

## Participation report

### 参戦レポート

まず、プレゼンテーション審査5位、デザイン審査9位、アクセラレーション審査10位達成はいずれもチーム過去最高の成績であり、今後に繋がる確かな成果を残せました。根拠のある目標設定と各項目の実測と解析を強化することが功を奏しました。一方で、動的審査ではまさかのハプニングに襲われました。大会3日目に行われたアクセラレーション、スキッドパッド後のオートクロス出走間際に、ECUトラブルによりメインスイッチを入れると燃料の供給が止まらなくなるトラブルに見舞われ、急ぎ配線をし直し、燃料の供給のスイッチを手動で切り替えられるように修正しました。その日のオートクロスは雨天のため中止となり午後7時頃ようやくピットに戻ることができましたが、その直後4日目の朝8時、一番目に出走することになりアライメント等の準備を行いました。十分に調整し切る時間を確保できないままエンデュランス出走となりました。結果、残り2周半のところ、3日目に修正した電装の配線ハンダ付けの甘い箇所が断線し無念のリタイヤとなりました。ラップタイムを昨年度比-5.8秒を達成し、確実に過去最速のマシンを作り上げることができていただけに、本大会で本領を発揮できずとも悔しい思いをしました。

「工学院大学の飛躍」と言い切るには、1年お預けとなりましたが、確実にチーム力の向上が実感できております。それだけのことは1年間を通してやり通すことができたことと実感しております。総合優勝獲得へ16年度大会での「強い工学院レーシングチーム」にご期待下さい。

**Team-Movie** <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/20.html>